

## 開発拓殖功勞者頌徳碑

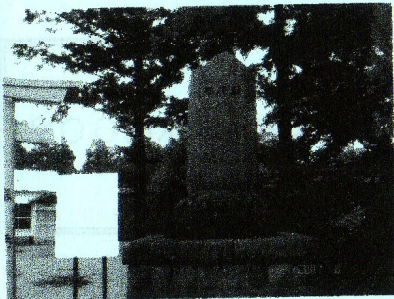
### ＝東開発稲荷神社境内＝

昭和12年(1937)、開発地区住民が高田万次郎以下6人の同地方開拓の功徳をしのび、且つ神社創建と先人の勞に報いるため、建立した。

諸氏は、60町歩(60畝)余りの土地の払い下げを受け、10年かけて水田への工事を完成させた。住民は大いに恩恵を受けたことが、漢文で刻まれている。

書；石黒英彦(北海道庁長官)  
彫；林貞蔵

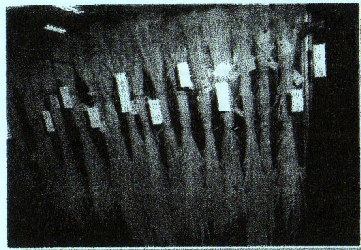
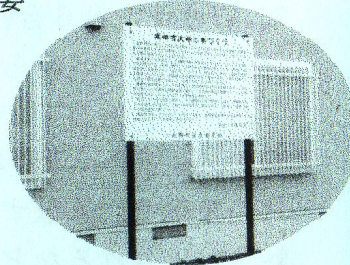
6氏とは、万次郎ほか中村金兵衛、高田弥五右衛門、西川初蔵、大村菊次郎、品川市郎の事



東開発稲荷神社に  
建つ頌徳碑

## 掲載・紹介

- 昭和45年(1970)、万次郎の功績については『大野町史』に詳細記載
- 平成元年(1989)、『新北海道史年表』に載る
- 同10年、「高田万次郎と米づくり」が函館新聞に掲載
- 同年、「高田万次郎と米づくり」の説明板建立 大野町教委
- 同年、「高田万次郎と米づくり」が『箱館昔話』に掲載
- 同18年、『新大野町史』に掲載 高田家(本町)に建つ説明板・十字街から七飯方向100m
- 同24年、「農業と科学」に「北海道水田発祥の地 高田万次郎郷土の稲作に不朽の功績」が掲載



大野で広まった稲品種「赤毛」など・北斗市郷土資料館

## たかだまんじろう 高田万次郎

文政10年～明治42年

(1827)

(1909)



## 郷土の稲作に不朽の功績

◆問い合わせ；北斗市郷土資料館  
041-1201 北斗市本町2丁目12番7号  
(0138) 77-6681

## 大野文化財保護研究会

(略称；文保研・ぶんぼけん)

2012年8月(再)